

2022年1月6日

2022年 社長年頭挨拶要旨(社員向け)

社長 漆畑 憲一

2022年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、この場をお借りして、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになられた方々に対しましては、心より哀悼の意を表します。

2022年は「22Vision」の最終年度を迎えます。今後もコロナ影響の懸念が続くものと思われませんが、しっかりと対策しながら、「22Vision」の達成に向けて取り組むとともに、「ポスト22Vision」に向けた本格的な活動をグループ全体で展開していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

さて、昨年上期までの半導体供給不足による自動車生産の落ち込みも、ここにきてある程度挽回されつつあります。この先、急激な増産がある場合には遅滞なく対応していく必要があります。一方、コロナの再流行が更に拡大・長期化しますと、厳しく難しい状況が続くことが考えられます。そのような中であっても、我々は受注、生産、開発の事業活動を決して停滞させないようにしなくてはなりません。また、ムダ・ムリ・ムラの削減や、働き方や仕事の仕組みの見直し等、体質強化の取組の常態化が必要です。それにより競争力を高めることができれば、「22Vision」の達成はもとより、お客様の信頼を勝ち取り、その先も安定的に持続成長可能な事業活動を展開することが可能となります。この先も事業環境は変化が著しいと予想されますが、当社グループの足元の事業基盤をしっかりと固めるためにも、本年は、以下の3点について、皆さんに取り組んでいただくことを願います。

1点めは、『事業環境変化への対応強化』です。この約2年、コロナ禍によって、社会のシステムや人々の価値観、事業活動の在り方等に大きな変化がありました。この先も、ひとたび何処かで何かが起こればそれがグローバルに波及するリスクがあるという状況を認識し、全ての事業活動でBCP対応の強化を図っていただくようお願いいたします。また、CASE^{*1}という大きな潮流への対応も更に加速していく必要があります。この先も継続的に成長できるような新たな価値や事業の創造と、人材育成やリソースの確保に注力をお願いいたします。コロナで一変した働き方も、IT技術を駆使し、更にはDX^{*2}を推進しながら、そこに働き甲斐と効率化・成果を追求していくことも願います。

2点めは、『22V達成に向けたグローバルの体質強化』です。外部環境が低迷する中であっても、当社グループは「22Vision」を必達すべく内部固めをしっかり行い、グローバルの事業体質強化をお願いいたします。事業体質強化の基本は、「モノづくり力(S+EQCDD^{*3})の強化」です。安定生産・安定供給のため、それぞれの部門が主体となり、かつ、関係部門との連携を密にしながら、緊迫感をもって臨んでいただくようお願いいたします。

3点めは、企業活動の根幹でもある『安全・品質・コンプライアンスについての取組強化』です。まず、安全ですが、リーダー主導・率先による職場巡視と指導をお願いします。また、一人ひとりが「災害ゼロ」を実現させるという強い意識を持っていただくようお願いいたします。品質については、従来からの「決める」「守る」「直す」「守る」の行動指針の徹底に加え、「設計品質」への取組強化をお願いします。「品質の住友」として「ゼロに拘り、世界同一最高品質」を実現していけるようお願いいたします。コンプライアンスについても、ハラスメントや不正・不祥事等を絶対に起こさせない体質・文化としていくため、皆さんとともに『明るくクリーンな会社づくり』を推進していきたいと思っております。

最後に、基本的な事項として併せてお願いしたいことがございます。一つは、皆さん一人ひとりが『健康・健全』であるようお願いいたします。各職制においても、そのような環境づくりを積極的に進めてください。もう一つは、「SWS WAY^{*4}」に基づく住友流の仕事の進め方を、一層深化させていただきをお願いいたします。具体的には、それぞれが「SWS WAY」を体現できる状態をめざしてください。更には、グローバル企業で働くことへの自信と自負を持って臨んでいただくようお願いいたします。皆さん一人ひとりのそうした意識や行動、状態が、お客様や社会からの信頼と評価につながり、『世界中のお客様からなくてはならないパートナー』を実現するものと信じています。

以上

—ご参考—

*1 CASE

: Connected (つながる)、Autonomous (自動運転)、Shared (シェアリング)、Electric (電動化) の頭文字をとったもので、これらの新しい領域で自動車の技術革新が進んでいる。

*2 DX

: 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

*3 SEQCDD

: S(Safety : 安全)、E(Environment : 環境)、Q(Quality : 品質)、C(Cost : 価格)、D(Delivery : 物流、納期)、D(Development : 開発)

*4 SWS WAY

: 住友電装グループの行動原則。「プロフェッショナル」「チームワーク」「チャレンジ」の3つを重点項目とし、項目ごとに3つの行動原則を定める。